

平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト		
予 算 額	1,569,040 千円	新規・継続の別	継続
	いのちを守る 橋りょう健全化プログラム 1,121,740 千円 災害防除 444,000 千円 排水機場維持補修 3,300 千円	政策的新規充実予算枠 ・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 局配分枠
担 当 課	調整管理課（222－3568）		
[事業実施に至る経過・背景など] 東日本大震災や近年多発するゲリラ豪雨等を踏まえ、災害に強いまちづくりに向けた防災対策を充実するため、以下の事業を実施する。 [事業概要] (1) いのちを守る橋りょう健全化プログラムの推進 災害時における都市機能の確保を図るとともに、平常時においても市民生活を守るため、プログラムに基づいた耐震補強をはじめとした適切な維持修繕を計画的に進める。 実施箇所 耐震補強 8 橋（御池大橋、九条跨線橋など） 老朽化修繕 14 橋（菊屋橋、京川橋など） (2) 災害防除（道路に面する斜面等の防災対策） 道路に面する斜面等において、落石、斜面崩壊等による災害を未然に防止するための工事を計画的に進めるとともに、地形や地質、危険度を評価した道路防災カルテの見直しを進める。 (3) 排水機場維持補修（耐震改修） 耐震性が低く、緊急に改修が必要な淀排水機場において、耐震改修に着手する。今後、耐震診断の結果、緊急に改修が必要と思われる排水機場から順次、耐震改修を行う。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）] (1) いのちを守る橋りょう健全化プログラム ・「重要路線」上の橋りょう（15m以上）15 橋のうち14 橋、及び新幹線または緊急輸送道路をまたぐ橋りょう3 橋の耐震補強を5年以内に完了させる。 ・特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう37 橋の修繕に着手し、工程的に6年以上かかる3 橋以外の34 橋について、5年以内に老朽化修繕を完了させる。 (2) 災害防除（道路に面する斜面等の防災対策） 緊急輸送道路等、路線の重要性及び緊急性を考慮して重点化を図りながら、対策工事を進め、災害の未然防止を行う。 (3) 排水機場維持補修（耐震改修） 排水機場の耐震改修を順次行うことにより、新耐震基準（建築基準法 昭和56年施行）に適合させ、耐震性の向上を図る。			

「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」

～橋りょうの耐震補強と老朽化修繕の進め方～

平成23年12月

京 都 市

1 「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」とは

➤ プログラムの目的

橋りょうの健全化には、**耐震補強**と**老朽化修繕**があります。耐震補強は、建設当初設定した耐震性能を、近年発生した大きな地震に対しても耐え得る強度に高めるものです。一方、老朽化修繕は、古くなった橋りょうを修繕するものです。

「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」は、耐震補強と老朽化修繕を個々に進めるのではなく、限られた時間内に最大限の財源を確保し、両者を並行して効率的、効果的に推進するために、5年を区切りとした具体的な工事の進め方を示したものです。今後、このプログラムに基づき橋りょうの健全化に向けて着実に取り組んでいきます。



図1 プログラムのイメージ

2 現状と課題

➤ 現状と課題

京都市では、阪神・淡路大震災を踏まえ、平成7年度から緊急輸送道路上の15m以上の橋りょう及び跨線・跨道橋を都市防災上重要な橋りょう（92橋）として位置付け、耐震補強を進めてきており、平成23年度末に40橋の耐震補強を完了する予定です。

平成23年3月に発生した東日本大震災による被害状況を目の当たりにして、災害時における避難ルート及び救援車両等の通行確保に向けて、残る52橋の耐震補強をスピードアップすることが喫緊の課題となっています。

また一方で、京都市内には戦前に建設された橋りょうも多く残っており、建設後50年以上経過した橋りょうの占める割合は他都市と比べて高く、これらの老朽化した橋りょうの修繕を効率的に進めていくことも大きな課題となっています。

これら課題解決のためには、多額の費用が必要となりますが、橋りょうの健全化は、市民の皆様のいのちとくらしを守り、社会経済活動を支えるものであるため優先的に取り組む必要があります。

このため、道路整備事業について、新規路線工事着手の見送りなどスケジュールを抜本的に見直すことや、さらなる国庫補助金の確保に向けた要望など、財源確保に向けた取組を併せて進めていくこととしております。

○緊急輸送道路とは？

緊急輸送道路は、大規模な地震等の災害が発生した場合に、救命活動や物資輸送を円滑に行うために、府や市などが事前に指定した道路のことです。

○跨線・跨道橋とは？

鉄道をまたぐ橋、または道路をまたぐ橋のことです。これらの橋の工事を行う場合、工事時間帯が電車や車の走らない夜間に限られたり、鉄道や道路の安全性を確認しながら進めるため、他の橋りょうより工事期間が長くなります。

豆知識

➤ 橋りょうの健全度

本市が管理する橋りょう2,773橋のうち、橋長15m以上の橋りょう、緊急輸送道路上の橋りょう、跨線・跨道橋等の680橋について、その健全度を調査・点検しました。その結果、損傷が比較的小さい橋りょう（健全度A、B1、B2）は415橋で、全体の61%と約6割を占めており、緊急対応が必要な橋りょう（健全度E）はありませんでした。

しかし、軽度なものを含め、何らかの損傷が認められた橋りょうは555橋（82%）であり、そのうち早期に老朽化修繕を実施する必要のある橋りょう（健全度C）が265橋（39%）あります。（265橋のうち21橋は、都市防災上重要な橋りょうに位置付けられています。）

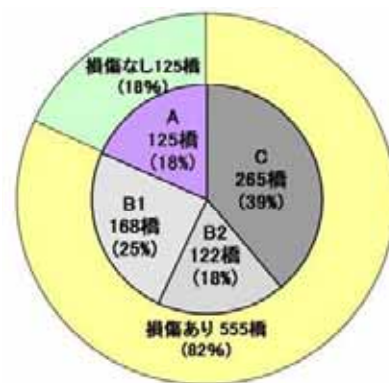


図2 健全度の分布
（平成24年4月現在）

橋りょうの健全度（国土交通省の橋りょう定期点検要領に準拠）

健全度	健全度の内容
A	損傷がほとんどなく、老朽化修繕を実施する必要はありません。
B1	損傷が一部に認められますが、直ちに老朽化修繕を実施する必要はありません。
B2	損傷があり、老朽化修繕を実施することが望まれます。
C	損傷が比較的大きく、早期に老朽化修繕を実施する必要があります。
E	損傷が著しく、緊急対応が必要です。

3 優先順位の考え方

耐震補強、老朽化修繕とも、対象となる橋りょう数が多く、また、膨大な事業費を要することから、優先順位を定め、橋りょう対策を確実に実施していきます。

(1) 重要路線の考え方

緊急輸送道路のうち、災害時に他都市からの応援部隊や支援物資の搬送に必要となる路線及び市域の骨格ネットワークを形成する路線を、本プログラムの中で「重要路線[※]」と位置付けます。

(2) 耐震補強の優先順位の考え方

ア 緊急輸送道路上の橋りょう（15m以上）の優先順位については、「重要路線」上の橋りょうを優先し、耐震補強等を行います。

イ 鉄道や道路をまたぐ橋りょうの優先順位については、新幹線・緊急輸送道路をまたぐ橋りょうを優先し、耐震補強等を行います。

(3) 老朽化修繕の優先順位の考え方

損傷が比較的大きく、早期に老朽化修繕を実施する必要のある橋りょう（健全度C）のうち、損傷度や路線の重要性を考慮し、特に老朽化修繕を急ぐ必要があると判断した橋りょうを優先して老朽化修繕等を行います。

橋長が短く比較的新しい橋りょうなどについても5年以内に橋りょう点検を実施し、その結果を次期プログラムに反映させ、橋りょうの健全化を図っていきます。

また、橋りょう点検により特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょうが確認された場合は、優先して対策を実施していきます。

※ 重要路線

【他都市から京都市への進出ルート】

①高規格道路IC等から京都市役所、京都府庁、物資集積拠点又は応援部隊進出拠点を結ぶ路線
(新規緊急輸送道路の候補路線:十条通、大山崎大枝線)

②国道162号

【上記ルートを補完し、市域の骨格ネットワークを形成する路線】

③都心部環状ルート(≒京都環状線)及び環状ルート内を十字にクロスする路線

④地域間を連絡し、区役所・支所及び消防署の近傍を結ぶ路線

⑤国道367号

4 プログラムの内容

このプログラムは平成24年度から28年度までの取組目標を定めた、第1期プログラムです。

●ステップ1(5年以内の取組目標)

⇒ 国に対して、制度改革や財源の拡充を強く要望するとともに、最大限の財源を確保し、重要路線の健全化を完了させます。

耐震補強については、

(1)緊急輸送道路上の橋りょうについては、

ア 「重要路線」上の橋りょう(15m以上)15橋の対策に着手し、工程上6年目以降になる1橋以外の14橋の対策を完了させます。

イ 架け替え予定の橋りょう2橋、及びその他の橋りょう11橋のうち、特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう1橋の対策に着手します。(工程上、完了は6年目以降になります。)

(2)鉄道や道路をまたぐ橋りょうについては、

ア 新幹線又は緊急輸送道路をまたぐ橋りょう3橋について、対策を完了させます。

イ その他の橋りょう21橋のうち、特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう1橋の対策に着手します。(工程上、完了は6年目以降になります。)

老朽化修繕については、

損傷が比較的大きく、早期に老朽化修繕を実施する必要がある橋りょう(健全度「C」)のうち、特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう37橋の対策に着手し、工程上6年目以降となる3橋以外の34橋について、老朽化修繕を完了させます。

●ステップ2(6年目以降、5年ごとにプログラムを見直し、具体的な取組目標を定める)

⇒ 当初の5年以内に、

耐震補強については、比較的健全な緊急輸送道路上の橋りょう(15m以上)10橋、及び人道橋などの跨線・跨道橋20橋の対策に着手します。

老朽化修繕についても、損傷が比較的大きく、早期に老朽化修繕を実施する必要がある橋りょう(健全度C)について、優先順位を定め、順次取り組んでいきます。

プログラムは、5年ごとに見直します。

○ 耐震補強、老朽化修繕の完了した橋りょうなどについて、予防保全[※]型修繕(アセットマネジメント)を実施します。

※ 予防保全

老朽化修繕には、損傷が大きくなってからの大規模な修繕や架け替えなどを行う事後保全と、橋りょうの健全度や重要度を把握し、最小の投資で最大の効果をもたらすよう事前に修繕を行っていく予防保全があります。

京都市では、これらの橋りょうの修繕について「京都市橋りょう長寿命化修繕計画」を策定し、計画的に長寿命化を図っていきます。

京都府の橋の管理計画

2.773橋 (京都市管理「橋りょう」)

都市防災上重要な橋りょう 92橋

- 未補強(一部補強済を含む) 55橋
- 平成23年度完成予定の橋りょう 3橋
- 今後、対策を実施する橋りょう 52橋

37橋 (補強済)

緊急輸送道路上の橋りょうの耐震補強

緊急輸送道路上の橋りょう 28橋

- 重要路線上の橋りょう 15橋
 - 5年以内に耐震補強完了可能な橋りょう 14橋
 - 耐震補強完了が工程上6年以上かかる橋りょう 1橋
- 架設予定の橋りょう 2橋
- その他の橋りょう 11橋

14橋 (耐震補強完了)

4橋 (耐震補強着手)

比較的健全な10橋の耐震補強着手

緊要や道路をまわぐ橋りょうの耐震補強

跨線・跨道橋(緊急輸送道路上は除く) 24橋

- 新幹線・緊急輸送道路をまたぐ橋りょう 3橋
- その他の橋りょう 21橋

3橋 (耐震補強完了)

1橋 (耐震補強着手)

人造橋など20橋の耐震補強着手

対策完了

橋りょうの老朽化修繕

損傷が比較的大きく、早期に老朽化修繕を実施する必要がある橋りょう 244橋

- 特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう 37橋
 - 5年以内の完了が可能なる橋りょう 34橋
 - 老朽化修繕の完了が工程上6年以上かかる橋りょう 3橋
- その他の橋りょう 207橋

34橋 (老朽化修繕完了)

3橋 (老朽化修繕着手)

5年以内に完了可能な橋りょう 点検を実施

老朽化修繕を行う必要がある橋りょうを順次修繕

予防保全的修繕(アサリトナシメント)を実施

ステップ1 (第1期プログラム)

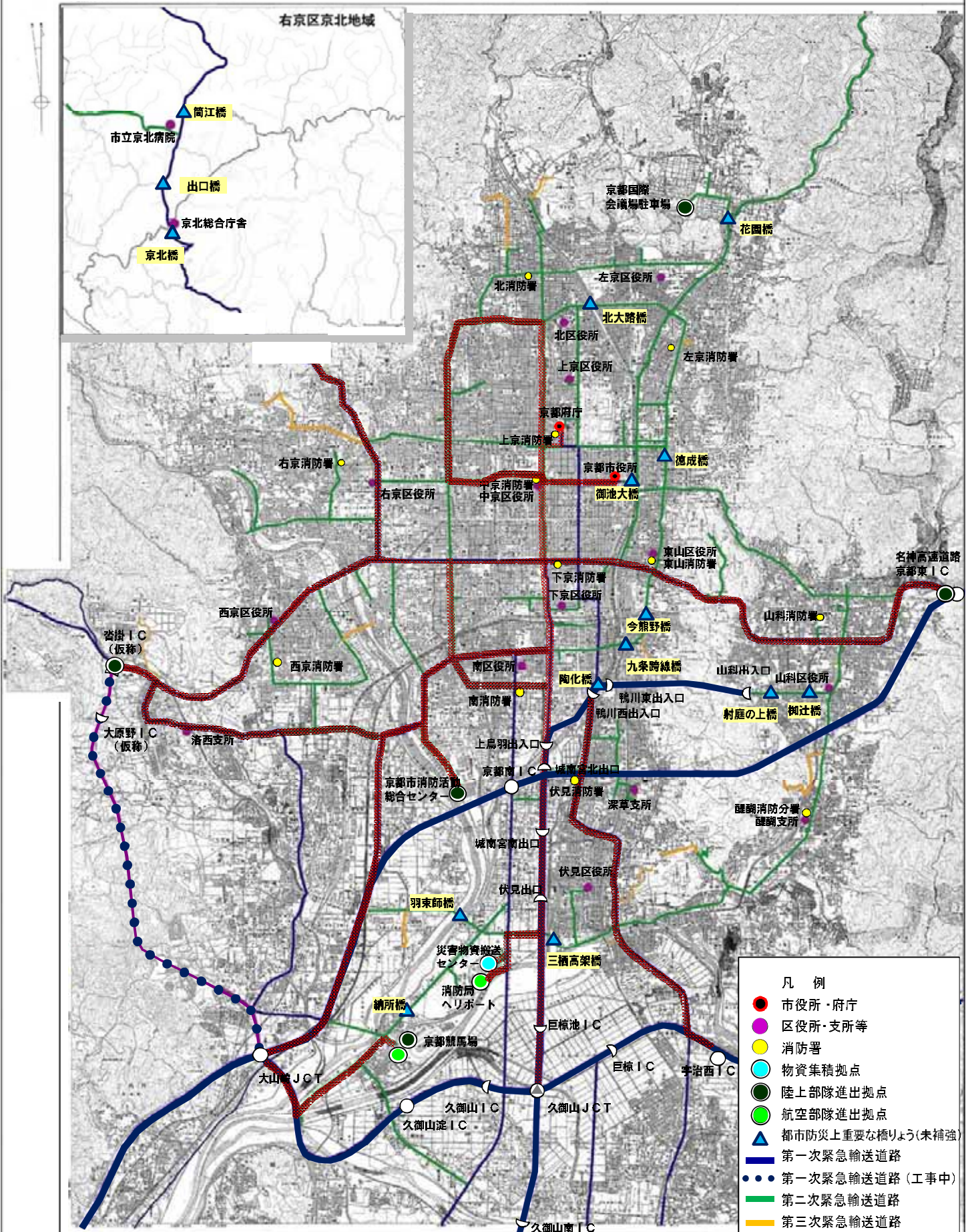
今後5年間の取組目標
重要路線の健全化完了!
事業費 約150億円!

ステップ2

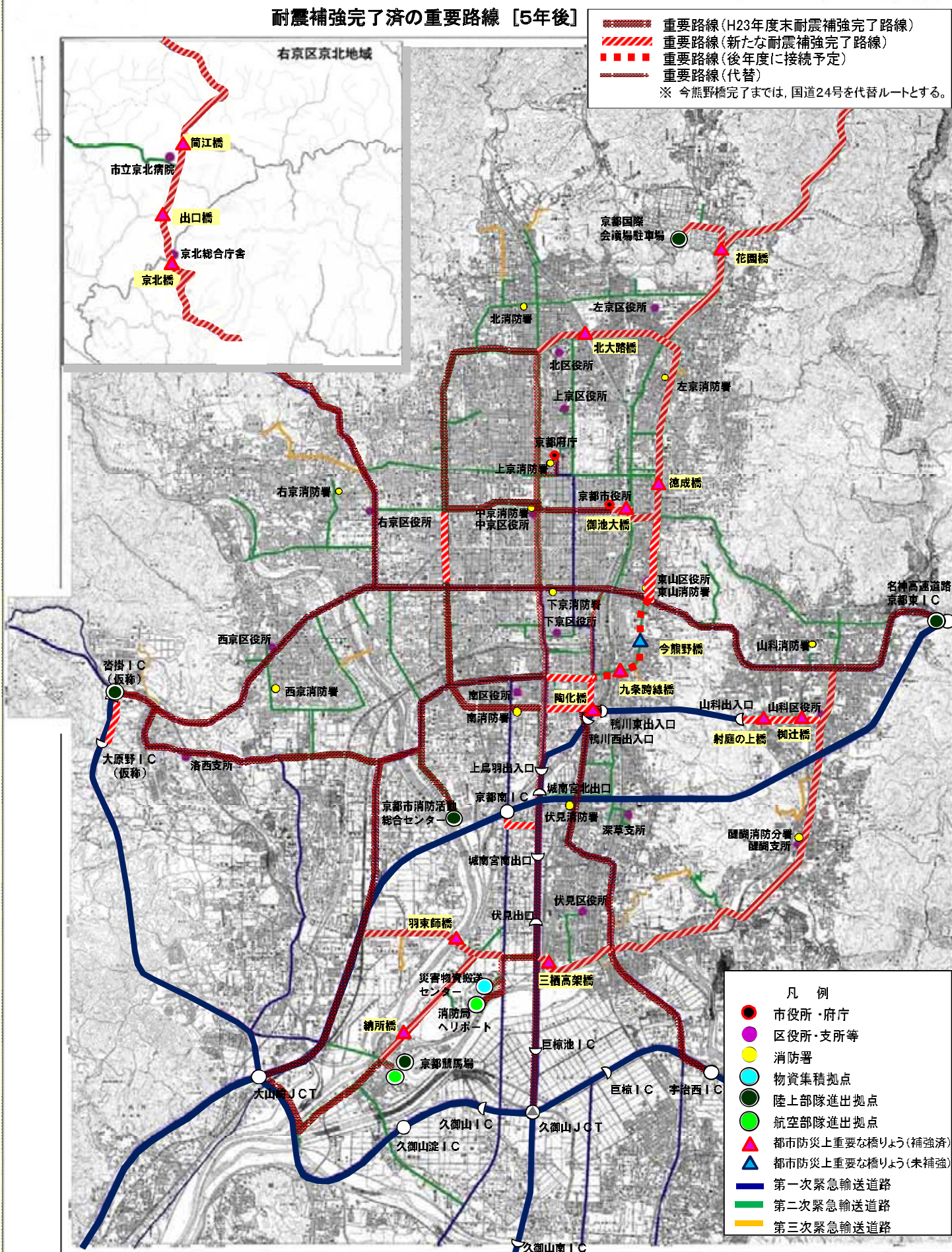
6年目以降 (5年ごとにプログラムを見直し、具体的な取組目標を定める)

耐震補強完了済の重要路線 [現在]

重要路線(H23年度末耐震補強完了路線)



耐震補強完了済の重要路線 [5年後]



京都市建設局土木管理部調整管理課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL 075-222-3568 FAX 075-212-3092

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/soshiki/10-2-1-0-0.html>



平成23年12月発行 京都市印刷物第233164号

参 考 資 料

凡例

【橋種】

鋼 橋：主要な部材に鋼材を用いた橋りょうです。

P C橋：主要な部材にプレストレスト・コンクリート※)（P C）を用いた橋りょうです。

R C橋：主要な部材に鉄筋コンクリート（R C）を用いた橋りょうです。

B O X：B O Xカルバートの橋りょうです。

※ 鋼材であらかじめ圧縮力をかけた鉄筋コンクリート

都市防災上重要な橋りょう（今後、耐震補強を実施する橋りょう）

		ステップ	区	橋りょう名	所在地	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	健全 度
緊急輸送道 路上の橋りょう (28橋)	重要路線上 の橋りょう (15橋)	1-1	北区・左京区	北大路橋	左京区下鴨上川原町	国道367号	97	22.7	鋼橋	B2
		1-1	左京区	徳成橋	左京区岡崎徳成町	京都環状線	23	19.8	鋼橋	A
		1-1	左京区	花園橋	左京区上高野山ノ橋町	岩倉山端線	28	22.1	鋼橋	B1
		1-1	左京区・中京区	御池大橋	中京区上木樺町	二条停車場東山三条線	82	29.8	鋼橋	C
		1-1	東山区・南区	九条跨線橋	東山区本町14丁目	四ノ宮四ツ塚線	418	18.8	RC橋	C
		1-1	東山区・南区	陶化橋	東山区福稲川原町	河原町十条親月橋線	91	22.8	鋼橋	A
		1-1	山科区	射庭の上橋	山科区西野山射庭ノ上町	勧修寺今熊野線	20	20.8	鋼橋	B1
		1-1	山科区	柳辻橋	山科区柳辻封シ川町	大宅西野山線(3)	36	21.8	PC橋	A
		1-1	右京区	京北橋	右京区京北周山町	国道162号	64	16.9	PC橋	B2
		1-1	右京区	筒江橋	右京区京北上弓削町	国道162号	39	15.0	鋼橋	A
		1-1	右京区	出口橋	右京区京北五本松町	国道162号	28	14.8	鋼橋	A
		1-1	伏見区	納所橋	伏見区納所里柳	京都守口線	16	18.3	RC橋	B1
		1-1	伏見区	羽東師橋	伏見区羽東師鴨川町	伏見柳谷高槻線	742	16.0	鋼橋	B2
		1-1	伏見区	三栖高架橋	伏見区三栖四丁目	親月橋横大路線	476	17.0	鋼橋	B1
		1-2	東山区	今熊野橋	東山区今熊野宝蔵町	四ノ宮四ツ塚線	22	22.5	鋼橋	C
	架替予定の橋 りょう (2橋)	1-2	北区	御園橋	北区上賀茂御園口町	上賀茂線440号線	69	11.6	鋼橋	C
		1-2	伏見区	宮前橋	伏見区淀大下津町	奥海印寺納所線	271	9.8	鋼橋	C
	その他の橋 りょう(11 橋)	1-2	右京区・西京区	松尾橋	右京区梅津大縄場町	宇多野嵐山山田線	200	11.0	RC橋	C
		2	北区・左京区	北山大橋	北区小山東元町	北山通(1)	84	19.6	鋼橋	B2
		2	上京区・左京区	丸太町橋	上京区依屋町	鹿ヶ谷嵐山線	92	22.8	鋼橋	B2
		2	左京区	河合橋	左京区下鴨宮河町	柳通	59	10.9	鋼橋	B2
		2	左京区	田辺橋	左京区下堤町	川端通(2)	18	35.3	RC橋	B2
		2	左京区	松ヶ崎橋	左京区松ヶ崎小竹藪町	上賀茂山端線	42	22.8	鋼橋	B2
		2	右京区・西京区	桂橋	西京区桂浅原町	省掛西大路五条線	306	13.0	鋼橋	B1
		2	西京区	新西川橋	西京区大枝塚原町	大枝38号線	40	17.8	鋼橋	B2
		2	伏見区	京橋	伏見区京橋町	伏見塔京都市停車場線	31	16.1	鋼橋	B2
		2	伏見区	中之郷橋	伏見区深草直達橋二丁目	大津淀線	17	10.8	RC橋	C
		2	伏見区	淀高架橋	伏見区淀木津町	宇治淀線	228	8.6	RC橋	C
鉄道や道路 をまたぐ橋 りょう (24橋)	新幹線・緊急 輸送道路をま たぐ橋りょう (3橋)	1-1	左京区	山端跨線橋	左京区山端大塚町	白川通(1)	199	14.0	PC橋	B2・C
		1-1	東山区	伏見街道跨線橋	東山区本町9丁目	本町通(1)	53	3.2	鋼橋	C
		1-1	山科区	大石道跨線橋	山科区上花山久保町	大石道	37	2.3	鋼橋	C
	その他の橋 りょう (21橋)	1-2	南区	西国街道高架橋	南区久世中久世町	上久世石見上里線	192	7.7	RC橋	C
		2	東山区	北谷跨線橋	東山区今熊野宝蔵町	—	29	2.2	鋼橋	C
		2	東山区	醍醐街道跨線橋	東山区南瓦町	醍醐道	22	1.9	鋼橋	C
		2	東山区	大和大路跨線橋	東山区今熊野池田町	大和大路通	24	2.8	鋼橋	C
		2	山科区	北花山第2跨線橋	山科区北花山寺内町	山科北花山経11号線	38	2.2	鋼橋	C
		2	山科区	御坊ノ内跨道橋	山科区小山御坊ノ内町	山科小山経22号線	14	2.8	PC橋	A
		2	山科区	花山跨線橋	山科区北花山寺内町	勧修寺日ノ岡線	57	9.3	鋼橋	B1
		2	下京区・南区	大宮跨線橋	下京区八条坊門町	七条大宮四ツ塚線	270	13.8	鋼橋	C
		2	右京区	綾小路跨線橋	右京区西院北矢掛町	綾小路通	15	6.5	RC橋	B1
		2	右京区	嵐山高架橋	右京区嵯峨天龍寺造路町	宇多野嵐山山田線	540	8.9	PC橋	B2
		2	右京区	井御料橋	右京区西院北矢掛町	佐井西通(4)	15	6.6	RC橋	C
		2	右京区	鳥居本橋	右京区嵯峨鳥居本一華表町	釈迦堂清滝道	5	7.2	RC橋	B1
		2	右京区	野々宮跨線橋	右京区嵯峨野々宮町	嵯峨経195号線	16	2.9	鋼橋	C
		2	伏見区	飯食橋	伏見区深草飯食町	大津淀線	4	10.7	RC橋	C
		2	伏見区	御香橋	伏見区桃山毛利長門西町	毛利橋通	15	5.0	PC橋	B1
		2	伏見区	千本橋	伏見区深草大亀谷東寺町	深草経112-1号線	14	10.8	PC橋	A
		2	伏見区	醍醐跨道橋	伏見区醍醐西大路町	醍醐経76号線	11	16.8	PC橋	A
		2	伏見区	中書島橋	伏見区三栖向町	向島経65号線(2)	30	6.9	PC橋	B1
		2	伏見区	寺町人道橋	伏見区深草大亀谷東寺町	深草経107号線	21	2.5	鋼橋	C
		2	伏見区	乃木橋	伏見区桃山町伊賀	桃山経50号線	15	5.2	PC橋	B1
		2	伏見区	東丹波橋	伏見区桃山井伊掃部西町	丹波橋通(1)	15	6.8	PC橋	B1

ステップ1-1：5年以内に耐震補強の完了が可能な橋りょう

ステップ1-2：5年以内に耐震補強に着手し、耐震補強の完了が工程上6年目以降となる橋りょう

ステップ2：耐震補強の着手、完了が6年目以降となる橋りょう

特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう

	ステップ	区	橋りょう名	所在地	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	健全度
特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう(37橋)	1-1	北区	中の町橋	北区小野中ノ町	国道162号	5	7.6	RC橋	C
	1-1	左京区	大鷲3号橋	左京区岩倉大鷲町	上高野橋枝線	4	27.0	RC橋	C
	1-1	左京区	開花橋	左京区花背大布施町	国道477号	23	4.6	鋼橋	C
	1-1	左京区	川岸橋	左京区山端川岸町	国道367号	10	11.1	RC橋	C
	1-1	左京区	熊野橋	左京区聖護院蓮華蔵町	熊野道	22	10.8	RC橋	C
	1-1	左京区	光砥口橋	左京区広河原能見町	久多広河原線	19	4.0	鋼橋	C
	1-1	左京区	御所谷橋	左京区岩倉長谷町	岩倉2号線	5	3.4	鋼橋	C
	1-1	左京区	地藏寺橋	左京区鞍馬本町	—	10	2.2	鋼橋	C
	1-1	左京区	蛸谷橋	左京区八瀬花尻町	国道367号	4	6.7	RC橋	C
	1-1	左京区	戸寺橋	左京区大原戸寺町	国道367号	6	9.6	RC橋	C
	1-1	中京区	三条橋	中京区西ノ京新建町	京都環状線	5	27.7	RC橋	C
	1-1	中京区	高瀬川御池橋	中京区下丸屋町	二条停車場東山三条線	8	49.7	鋼橋	C
	1-1	中京区・左京区	二条大橋	中京区鉾田町	二条通	85	12.6	鋼橋	C
	1-1	東山区	菊屋橋	東山区石橋町	四ノ宮四ツ塚線	10	23.0	鋼橋	C
	1-1	山科区	四ノ宮高架橋	山科区四ノ宮泓	四ノ宮四ツ塚線	88	8.8	PC橋	C
	1-1	山科区	高岩橋	山科区大塚高岩	山科大塚経17号線	33	6.6	鋼橋	C
	1-1	山科区	天神橋	山科区大塚大岩	山科大塚経30号線	33	6.6	鋼橋	C
	1-1	山科区	榎辻3号橋	山科区榎辻東漬	大宅西野山線(1)	5	20.1	RC橋	C
	1-1	南区	上鳥羽橋	南区上鳥羽川端町	中山稲荷線	35	6.6	鋼橋	C
	1-1	右京区	堂の橋	右京区京北上弓削町	国道162号	5	7.2	鋼橋	C
	1-1	右京区	細野谷橋	右京区京北細野町	国道162号	4	7.9	RC橋	C
	1-1	右京区	宮ノ辻橋	右京区京北細野町	国道162号	13	8.6	RC橋	C
	1-1	右京区	— (無名)	右京区京北上弓削町	国道162号	3	11.6	BOX	C
	1-1	右京区	八幡橋	右京区梅ヶ畑向ノ地町	国道162号	5	13.0	RC橋	C
	1-1	伏見区	池田橋	伏見区醍醐池田町	外環状線(1)	7	15.6	RC橋	C
	1-1	伏見区	越前橋	伏見区越前町	清水町通	17	4.3	RC橋	C
	1-1	伏見区	景勝橋	伏見区景勝町	木挽町通	19	6.1	鋼橋	C
	1-1	南区・伏見区	京川橋	伏見区中島河原田町	伏見向日線	116	12.2	RC橋	C
	1-1	伏見区	師団橋	伏見区深草野田町	深草経149号線(1)	17	12.3	鋼橋	C
	1-1	伏見区	砂川橋	伏見区深草綿森町	中山稲荷線	17	10.7	RC橋	C
	1-1	伏見区	丹波橋	伏見区丹波橋町	丹波橋通(1)	16	5.6	鋼橋	C
	1-1	伏見区	土橋	伏見区土橋町	伏見港京都停車場線	18	6.6	鋼橋	C
	1-1	伏見区	蓬萊橋	伏見区南浜町	納屋町通	18	5.5	RC橋	C
	1-1	伏見区	南真幡木五号橋	伏見区竹田東小屋ノ内町	新城南宮道	2	27.8	RC橋	C
	1-2	上京区・左京区	賀茂大橋	上京区梶井町	銀閣寺宇多野線	141	23.2	鋼橋	C
	1-2	上京区・左京区	荒神橋	上京区亀屋町	春日緯6号線	110	10.7	RC橋	C
	1-2	東山区	古門前橋	東山区石橋町	弥栄経3号線	17	7.0	鋼橋	C

ステップ1-1 : 5年以内に老朽化修繕の完了が可能な橋りょう

ステップ1-2 : 5年以内に老朽化修繕に着手し、老朽化修繕の完了が工程上6年目以降となる橋りょう

平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	緑視環境向上プロジェクト		
予 算 額	46, 600千円 桜景観創造プロジェクト 16,600 千円 市民公募型緑化推進事業 30,000 千円	新規・継続 の別	継 続
		政策的新規充実予算枠・ 局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	緑政課(222－3589)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 平成22年3月に策定した「京都市緑の基本計画」を推進するため、「緑視環境の向上」を重点テーマに、次の事業に取り組む。 〔事業概要〕 ○桜景観創造プロジェクト 平成22年度に実施した調査結果を基に、<u>樹勢が衰えていると判明したサクラ（ソメイヨシノ等）の更新を行う。</u> 〔平成24年度の更新予定：第二疏水分線，木屋町通，白川北通及び白川南通 約50本〕 ○市民公募型緑化推進事業 平成23年度に実施した<u>市民意見公募の結果を基に，公共の敷地や建築物における緑化を複数年にわたって実施する。</u> 〔平成24年度候補地：烏丸通，堀川，市役所庁舎前広場他〕			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	無電柱化等事業		
予 算 額	523, 100千円 愛宕街道 174, 000 千円 渡月橋南詰 80, 000 千円 小川通 11, 500 千円 松原通 255, 000 千円 上七軒通 2, 600 千円	新規・継続 の別	継 続
		政策的新規充実予算枠・ 局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 投資枠
担 当 課	道路環境整備課（222－3570）		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、京都らしい景観の保全・再生，安全で快適な歩行空間の確保，災害時の避難・輸送経路の確保，情報通信ネットワークの信頼性の向上などを目的として，伝統的な町並みを有する地域や災害時の輸送経路となる幹線道路を中心に，電線類の地中化を推進している。 ◎愛宕街道（府道 京都日吉美山線）：政策的新規充実予算枠 本路線は、江戸時代から愛宕山の頂にある愛宕神社の門前町として賑わった昔の町並みを残し，五山送り火の一つ鳥居形を有する嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区を東西に横断する路線であり，化野念仏寺，愛宕念仏寺への参道としても賑っている。 ◎渡月橋南詰（府道 宇多野嵐山山田線他）：政策的新規充実予算枠 当該箇所は，本市有数の観光地である嵯峨嵐山の渡月橋（渡月小橋）の南詰に位置し，背景には智福山法輪寺（嵯峨虚空蔵）を有する名勝嵐山の山並み（嵐山歴史的風土特別保存地区）を望む景観を有している。 ◎小川通（市道 油小路通他）：投資枠 本路線は，織屋・商家と寺社や茶道家の門構えが地域固有の町並みを構成し，他では見られない風雅な景観を有する上京小川歴史的景観保全修景地区内にあって，沿道には表千家不審菴，裏千家今日庵，宝鏡寺門跡，日蓮宗本山本法寺などを有する。 ◎松原通（市道 松原通）：投資枠 本路線は東大路から世界遺産清水寺へ至る参道で，清水坂とも呼ばれており，常に多くの観光客が往来する京都市でも屈指の観光地帯に位置する道路である。 ◎上七軒通（市道 翔鸞緯7号線）：投資枠 京都で最も歴史の古い花街で，北野天満宮の門前町の賑わいと芸能文化の発展に寄与し，優雅で落ち着いたある町並みを形成している。平成21年11月には北野上七軒界わい地区として歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の認定を受けている。			

[事業概要]

平成24年度の整備

◎ 愛宕街道（府道 京都日吉美山線）

- 事業区間：嵯峨鳥居本六反町（嵯峨鳥居本伝統的建造物群保全地区東端）
～嵯峨鳥居本仙翁町（化野念仏寺前）
- 道路延長：L＝250m
- 電線共同溝延長：L＝250m
- 整備内容：電線共同溝本体工事

◎ 渡月橋南詰（府道 宇多野嵐山山田線他）

- 事業区間：西京区嵐山中尾下町地内
- 道路延長：L＝70m
- 電線共同溝延長：L＝70m
- 整備内容：電線共同溝詳細設計，本体工事

◎ 小川通（市道 油小路通）

- 事業区間：上京区禅昌院町（上御霊前通）～宝鏡院東町（寺之内通）
- 道路延長：L＝250m
- 電線共同溝延長：L＝250m
- 整備内容：電線共同溝詳細設計
- 今後のスケジュール
平成25年度以降 電線共同溝本体工事，周辺関連工事等

◎ 松原通（市道 松原通）

- 事業区間：東山区清水二丁目（産寧坂）～清水四丁目（東大路通）
- 道路延長：L＝350m
- 電線共同溝延長：L＝350m
- 整備内容：電線共同溝本体工事

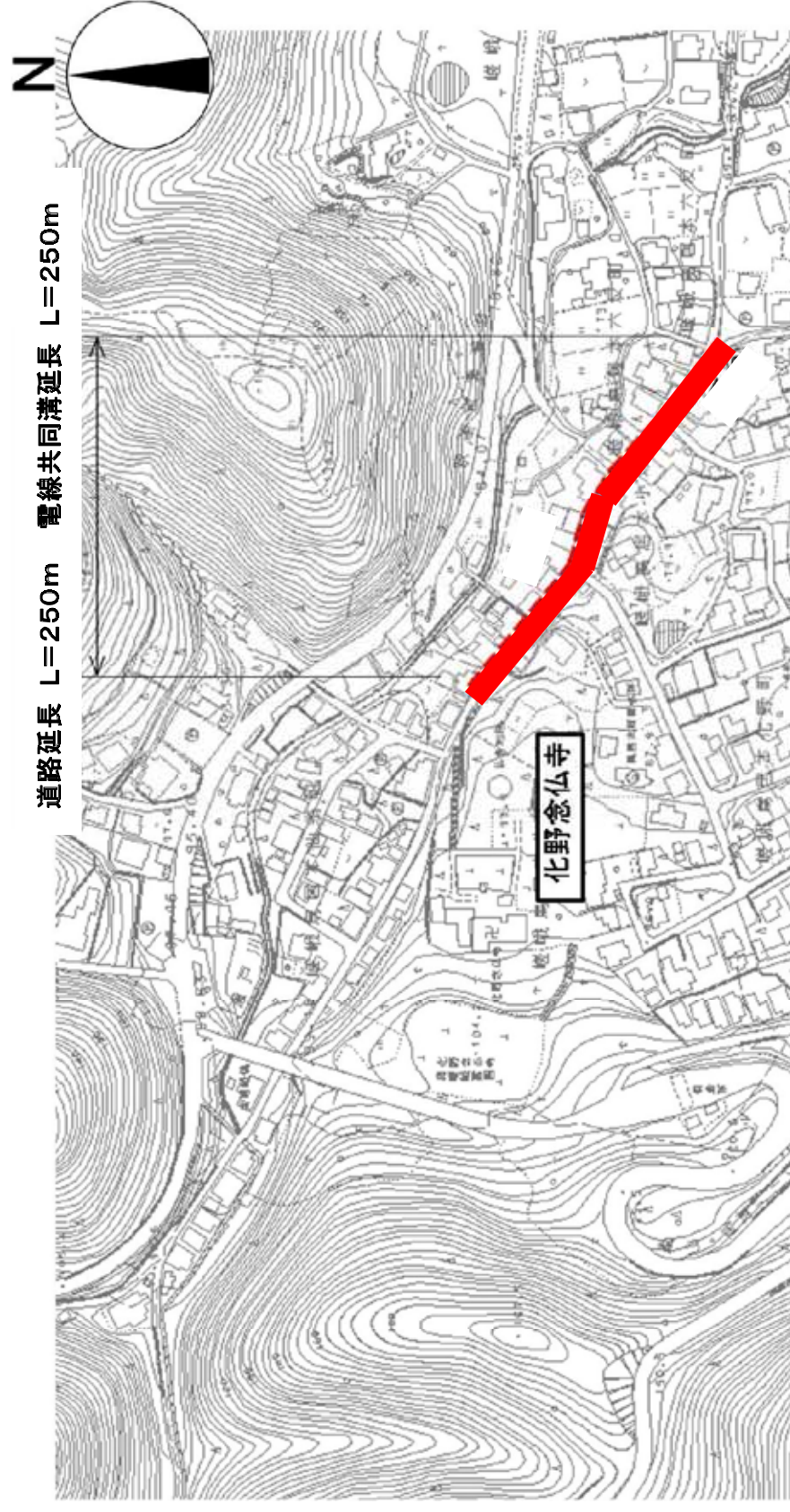
◎ 上七軒通（市道 翔鷲緯7号線）

- 事業区間：上京区毘沙門町（上七軒交差点）～社家長屋町（北野天満宮東門）
- 道路延長：L＝510m
- 電線共同溝延長：L＝310m
- 整備内容：周辺関連工事（案内板・石碑等の設置）

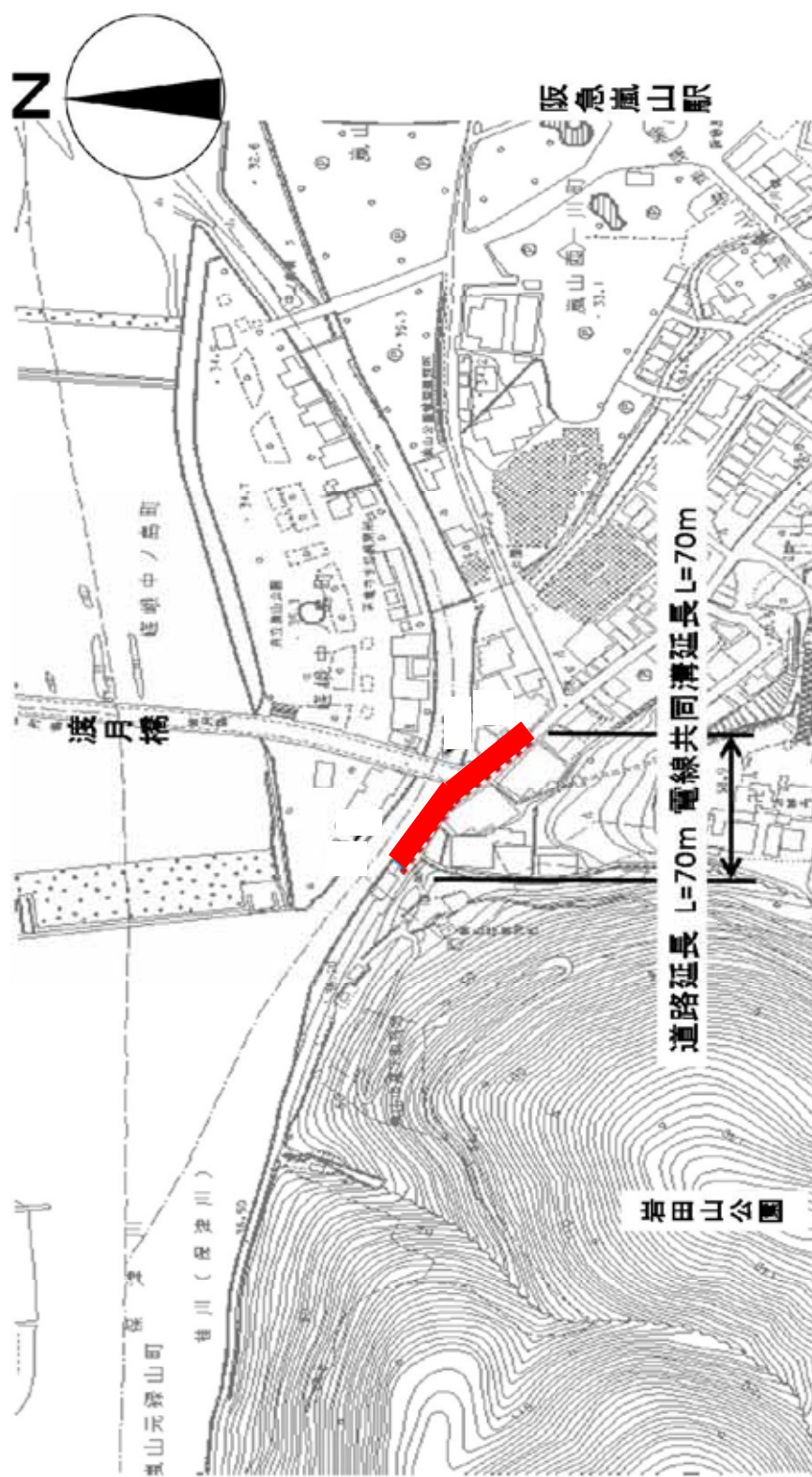
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]

路 線 名 主要府道 京都日吉美山線

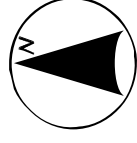
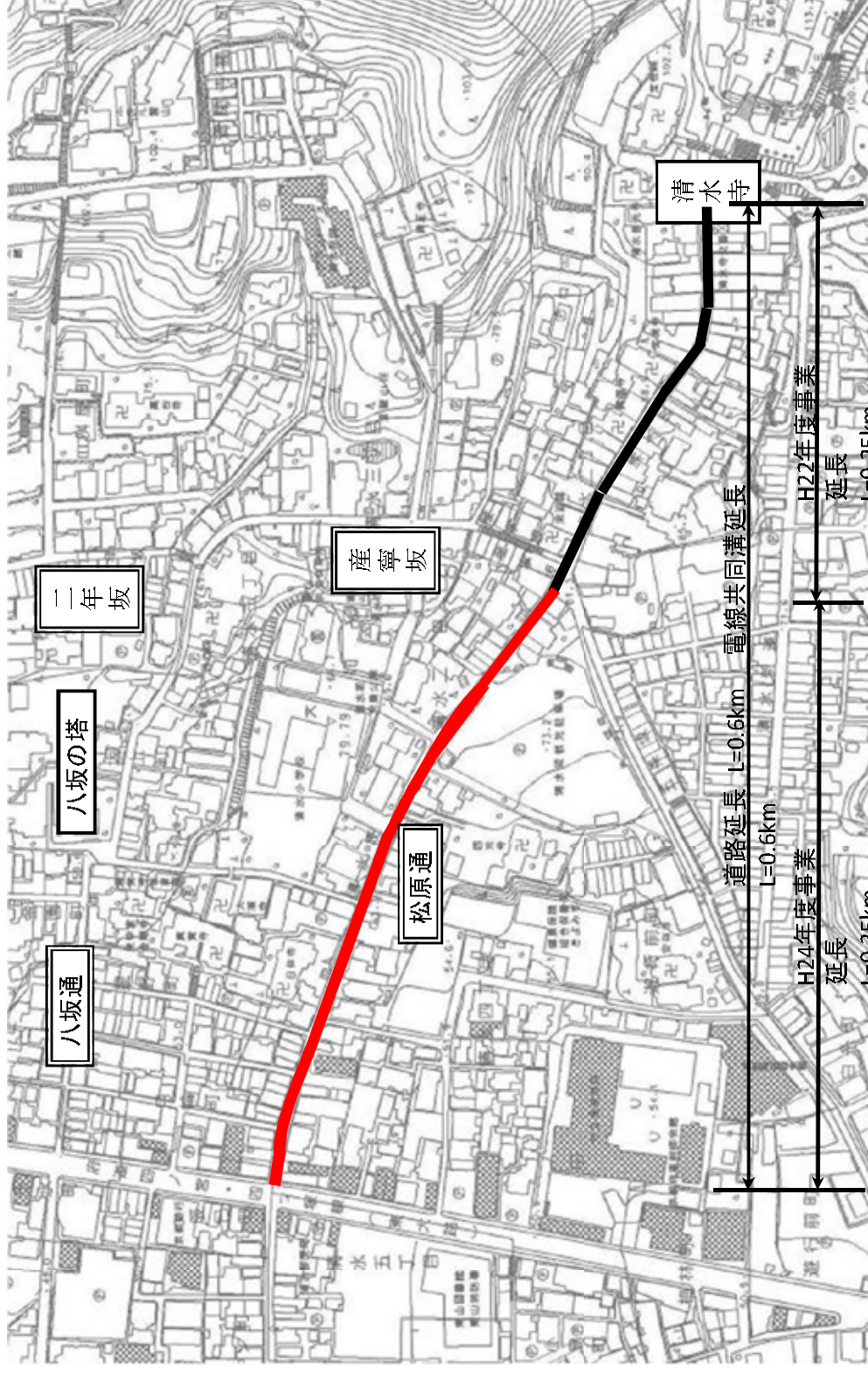
箇所図



路線名 主要府道 宇多野嵐山山田線他1路線



路 線 名	市道 油小路通（小川通）	箇 所 図
	道路延長 L=250m 電線共同溝延長 L=250m	



平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	烏丸通・緑の道路環境整備事業		
予 算 額	61, 900千円 道路の森づくり 34,000 千円 歩道のユリノキ並木再生 7,500 千円 自転車通行環境整備事業 20,400 千円	新規・継続 の別	新 規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠局配分枠
担 当 課	建設企画課(222－3551), 緑政課(222－3589), 道路環境整備課(222－3570)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市内を南北に通じる烏丸通を緑豊かなメインストリートとするため、丸太町通から塩小路通の区間において、緑の道路環境の創出と自転車走行環境の改善を図る。 [事業概要] 烏丸通の丸太町通から塩小路通の区間において、緑の道路環境の創出と自転車走行環境の改善を図るため、以下の事業を行う。 <u>平成24年度は、丸太町通から御池通までの区間を整備する。</u> ○道路の森づくり：政策的新規充実予算枠 烏丸通（丸太町通 ～ 五条通）において、低木植栽のみとなっている<u>中央分離帯に高木を植栽する。</u> ○歩道のユリノキ並木再生：局配分枠 烏丸通（丸太町通～五条通）の<u>歩道の街路樹をスズカケノキからユリノキへ更新し、並木景観の向上等を図る。</u> なお、「道路の森づくり」と進捗を合わせながら実施する。 ○自転車通行環境の整備：政策的新規充実予算枠 烏丸通（丸太町通～五条通、七条通～塩小路通）において、自転車通行環境の整備を行う（五条通～七条通は直轄国道区間のため、国へ働きかけを行う。）			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業		
予 算 額	12, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	調整管理課 （ 222－3568 ）		
[事業実施に至る経過・背景など] 今出川通, 烏丸通, 丸太町通の京都御苑側の歩道については, 歩行者と自転車との接触事故や御苑側水路への転落事故の危険性が高く, 特に烏丸通では, 信号待ちの人と通行する人が輻輳している状況であり, これまでから改善が求められてきた。 [事業概要] 京都御苑周辺の歩道において, 間伐材を活用した転落防止柵の設置やバス停, 横断歩道部におけるデッキ及び立入防止柵の設置を行う。 平成23年度については, バス待ちの人と歩行人が輻輳し, 改善を求められている烏丸今出川西行バス停付近について, デッキ等の設置工事を実施した。 <u>平成24年度は, 烏丸通の横断歩道部3箇所において, デッキ等の設置を行う。</u>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

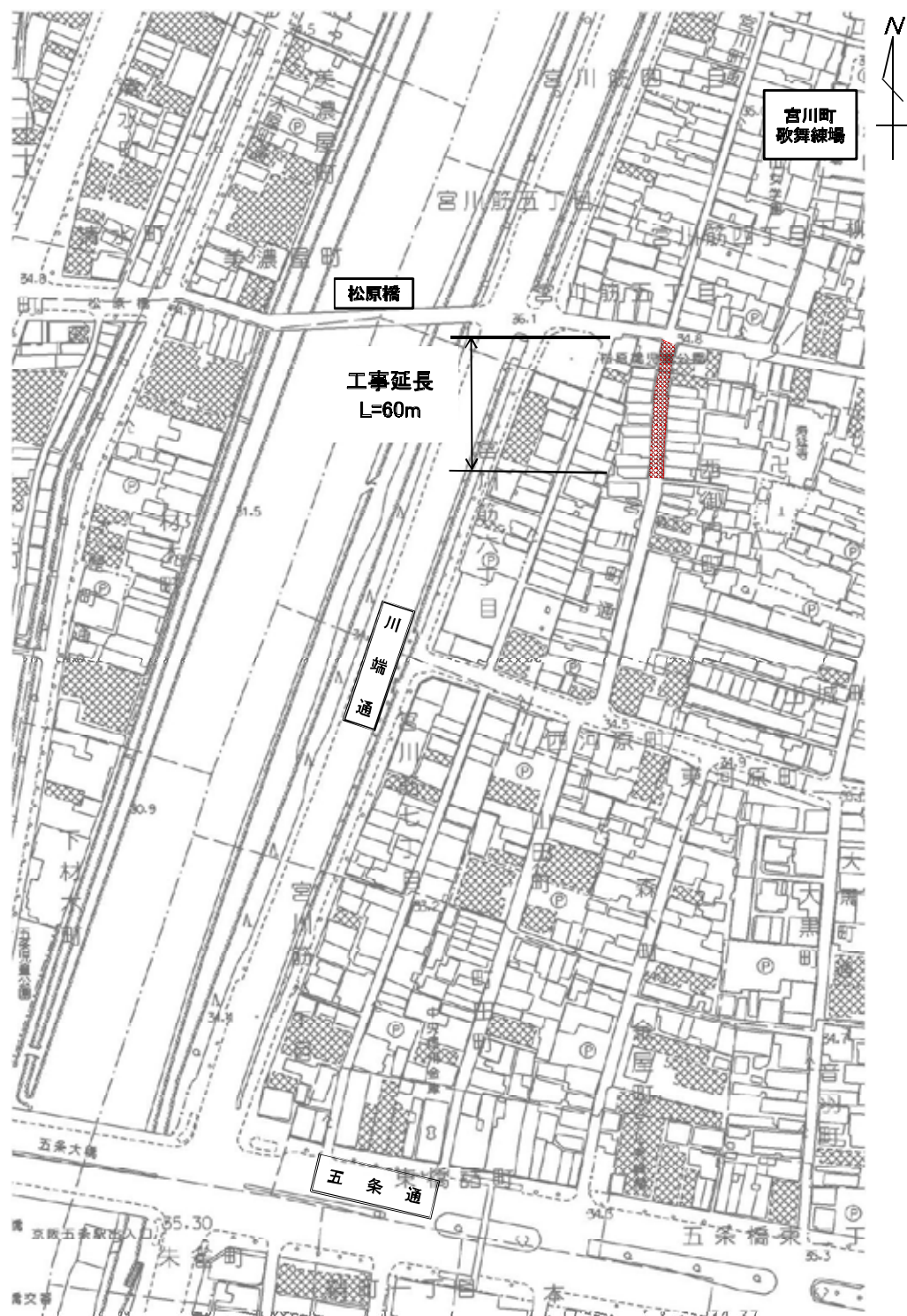
平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	石畳舗装維持補修		
予 算 額	42, 400千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	調整管理課 （ 222－3568 ）		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 近年、風情を感じさせる趣のある石畳舗装が、通行車両等の影響から著しく損傷している。通行に危険があるとともに、点在する補修（応急）跡が著しく景観を損ねていることから、耐久性の高い工法により修繕し、観光都市・京都らしい景観を確保するとともに、観光客を含む歩行者等にとって快適な歩行空間を確保する。 〔事業概要〕 実施箇所については、多くの観光客が訪れ、特に景観への配慮が必要である地区及びその周辺にある石畳舗装の補修を実施する。 <u>平成24年度は、六原経16号線、新橋通、弥栄経10号線の補修を行う。</u>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

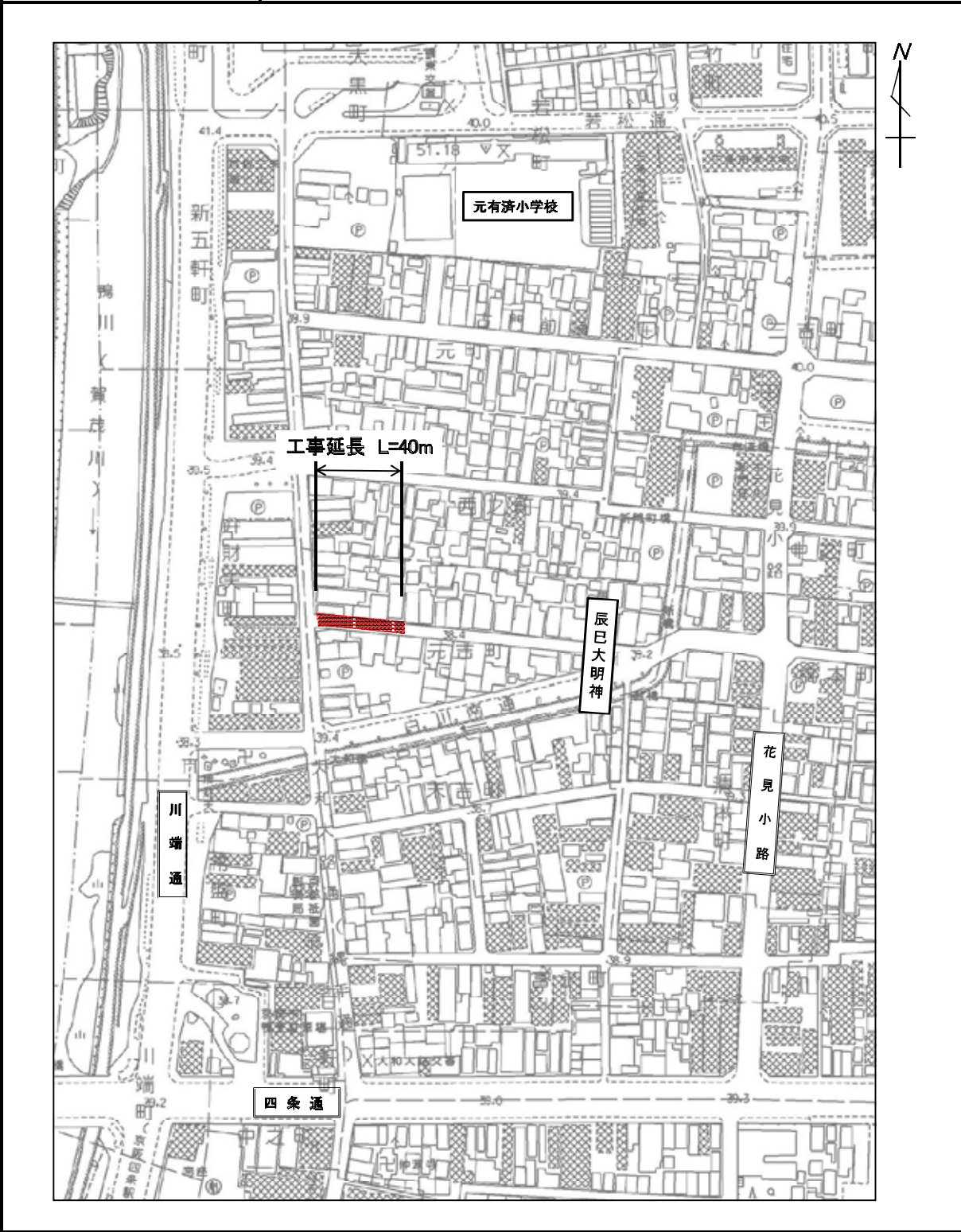
路線名

一般市道 六原経16号線



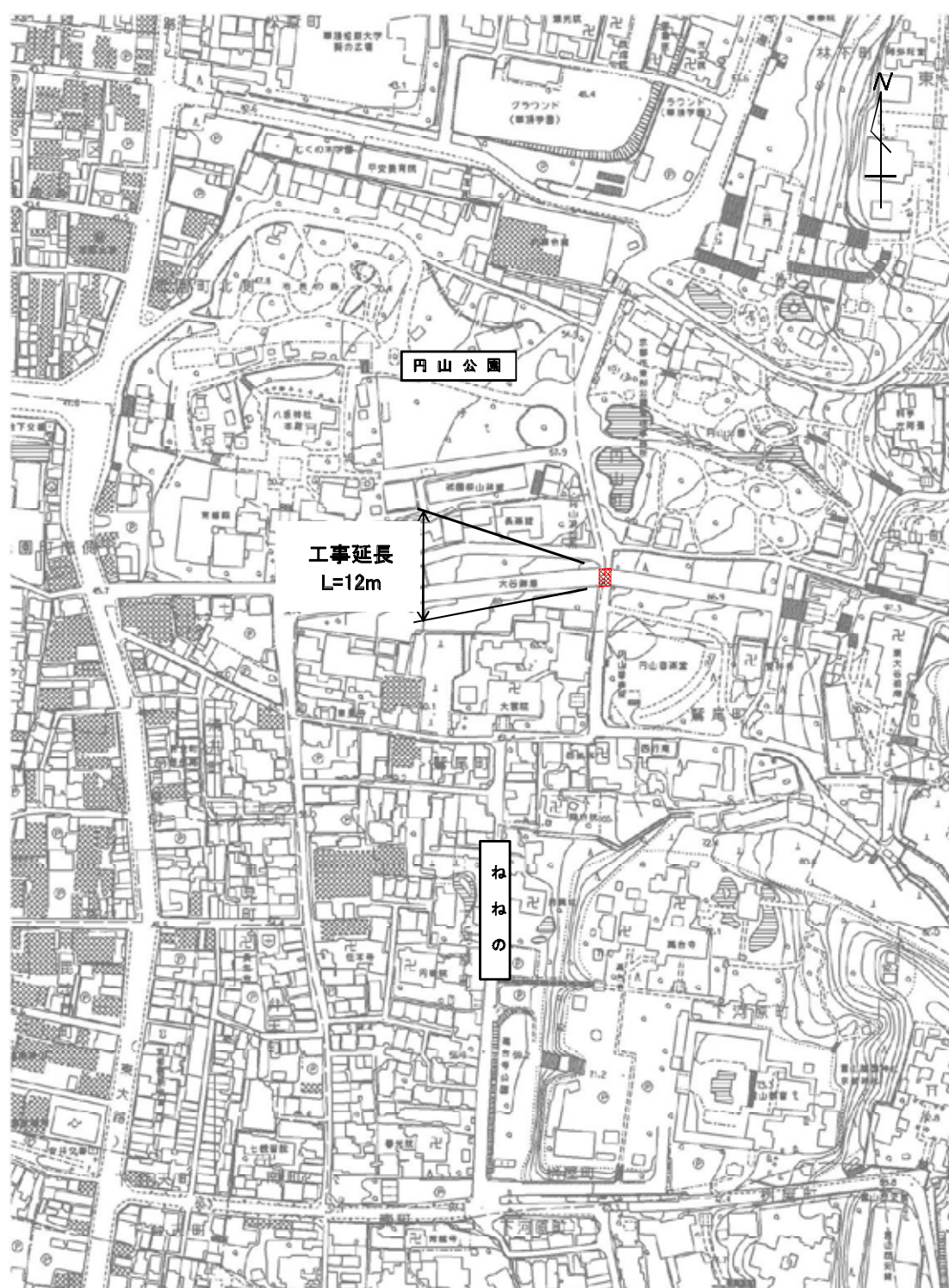
路線名

一般市道	新橋通
------	-----



路線名

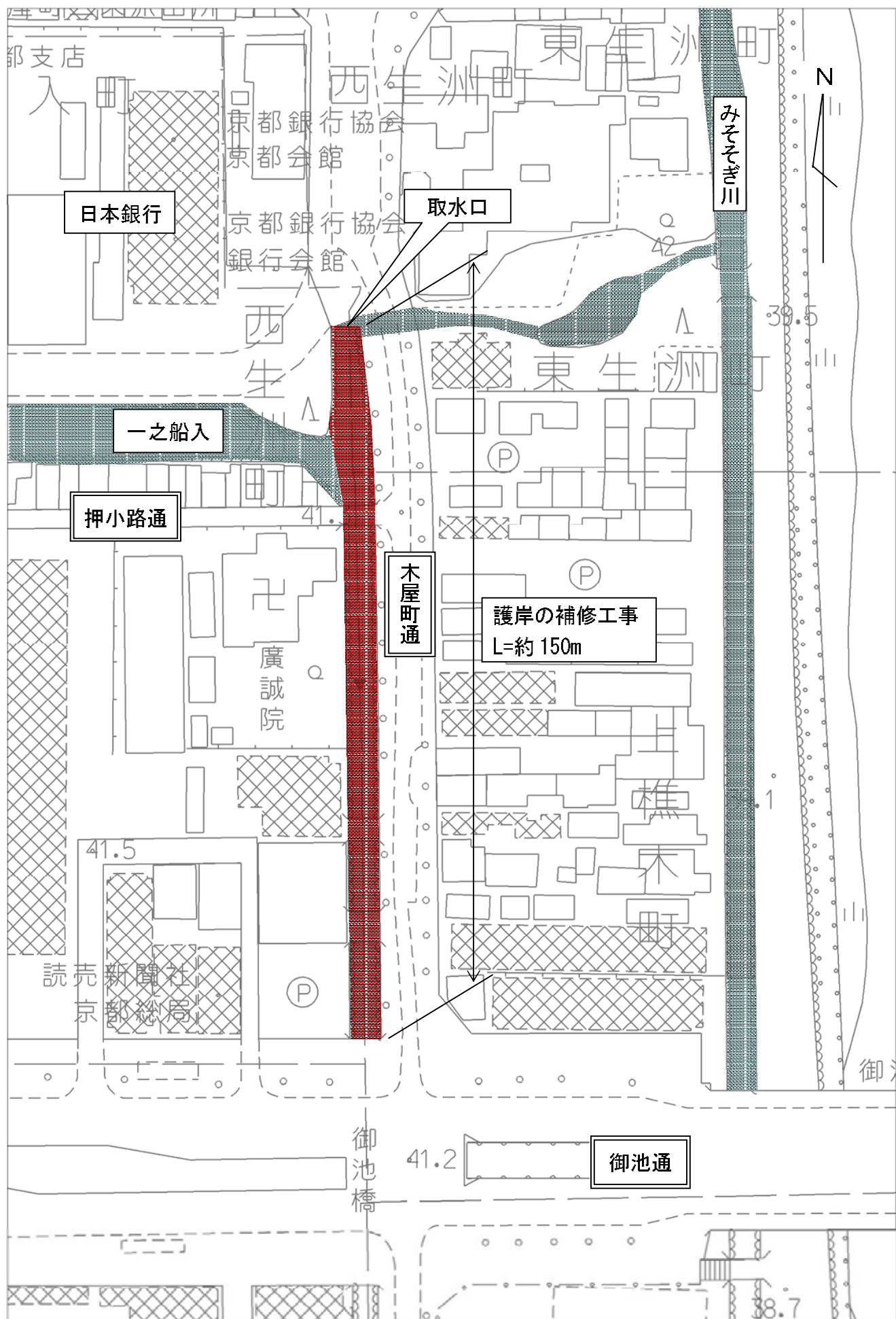
一般市道 弥栄経10号線



平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	高瀬川再生プロジェクト		
予 算 額	53, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	河川整備課（222－3591）		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 高瀬川は、江戸時代初期に角倉了以によって、京都の中心部と伏見を結ぶために物流用に開削された運河であり、開削から大正9年までの約300年間、京都・伏見間の水運に用いられた。 現在の高瀬川は、石積の護岸や桜並木が印象的で、繁華街の貴重な水辺空間として京都の代表的な景観を形成しているが、至る所で護岸の損傷、老朽化に伴う漏水が起こっており、良好な水辺空間として維持し続けることが困難な状況となりつつある。このため、将来にわたって、高瀬川とその景観を保全していくには、抜本的な修復を行い、常に一定水量を確保することが必要である。 〔事業概要〕 著しい損傷が確認できる取水口（一之船入付近）から五条までの間を第一期補修工事区間として、漏水防止及び護岸の崩壊などを予防するため、護岸の補修工事を実施する。 <u>平成24年度は、取水口（一之船入付近）～高瀬川御池橋の護岸の補修工事を実施する。</u>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			



平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	梅小路公園の魅力向上と周辺地域の活性化		
予 算 額	30, 000千円	新規・継続の別	新 規
	梅小路公園の再整備 11, 400 千円 梅小路公園周辺整備事業 18, 600 千円	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	建設企画課(222－3551), 緑政課(222－3589), 道路環境整備課(222－3570)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 梅小路公園の新たな公園施設として「水族館」及び「鉄道博物館」の整備（提案）がなされたことを契機に、梅小路公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、以下の事業を実施する。 〔事業概要〕 ○梅小路公園の再整備 総合公園である梅小路公園の公園機能の向上及び広域避難場所としての防災機能の向上を図るため、ＪＲ社宅跡地の一部を公園整備する。 <u>平成２４年度は、整備に向けて測量・実施設計を行う。</u> ○梅小路公園周辺整備事業 梅小路公園周辺地域における歩行者の回遊性向上と地域活性化を目的として、安心安全な歩道整備を実施する。 <u>平成２４年度は、七条通（大宮通～ＪＲ高架下）における道路設計を行う。</u>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成24年度 京都市予算案 事業概要

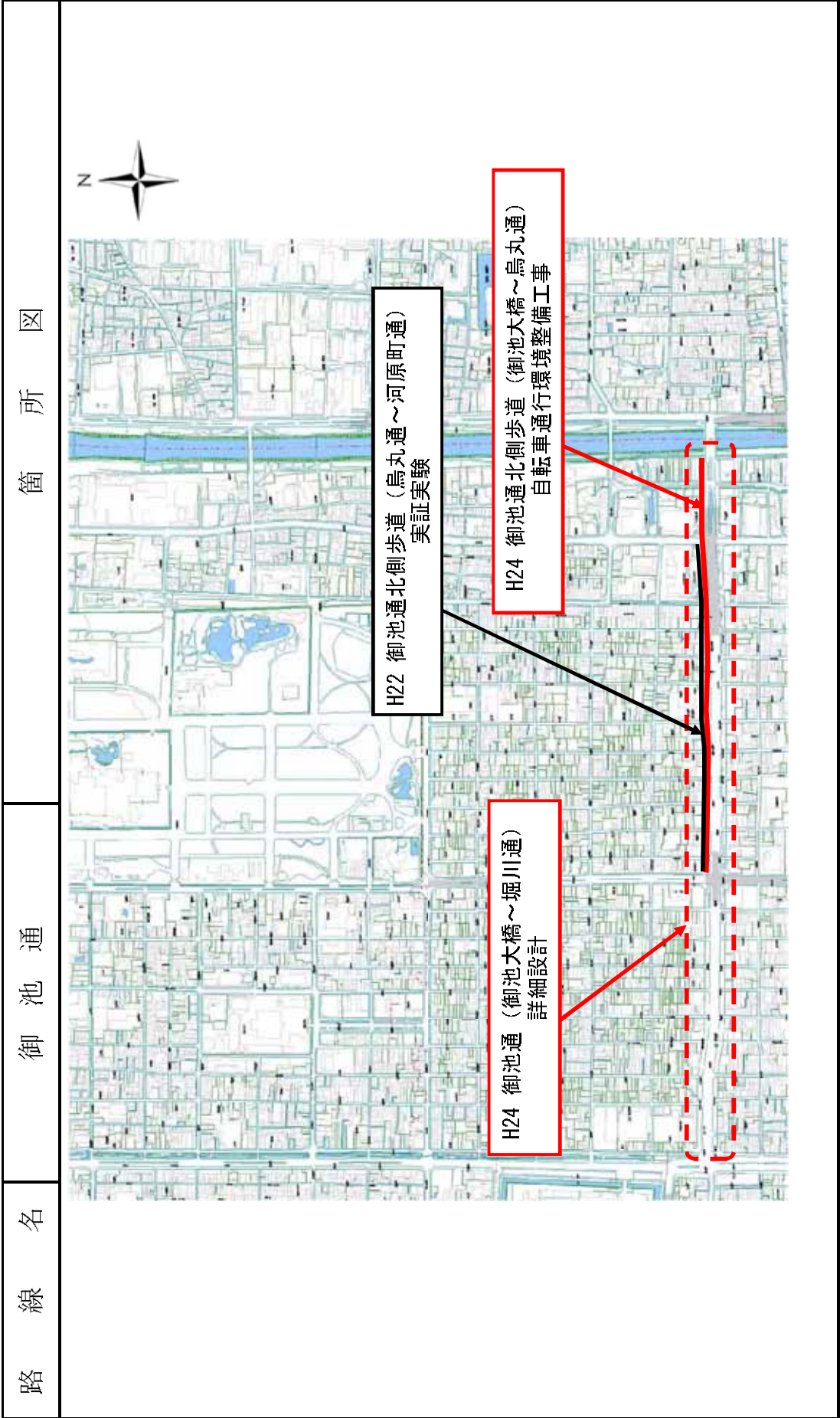
建設局

事務事業名	LED 道路照明灯の設置		
予 算 額	37, 300千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	調整管理課（222－3568）		
[事業実施に至る経過・背景など]			
道路照明灯は、市民の皆様が安全で円滑に道路を通行するために必要不可欠なものであり、 <u>現在、京都市では蛍光灯類約 67,000 灯、水銀灯類約 15,000 灯など膨大な数の道路照明灯を管理している。</u>			
環境モデル都市である京都市では、京都議定書誕生の地として地球環境にやさしい取組を推進しており、その一環として、平成20年度から主に幹線道路で用いられている水銀灯を、老朽化による更新等の際、エネルギー効率が高く消費電力が少ない「セラミックメタルハライドランプ」に取り替えを進めてきた。			
[事業概要]			
LED 照明灯は、水銀灯相当の性能を有する製品は開発途上ではありますが、蛍光灯相当の性能を有するものは、複数のメーカー等で開発されており、製品によって性能の違いがあるものの、蛍光灯と比較して、CO2 排出量を約3分の1に減少させ、寿命も約7倍に延ばすことが可能とされている。			
<u>平成24年度からは、生活道路等で使用している蛍光灯についても更なる節電・長寿命化・低炭素化を推進するため、生活道路等において増設する際はLED 照明灯にて施行していく。</u>			
【参考】蛍光灯と某メーカーの LED 照明灯との比較（20Wタイプ 1灯あたり）			
種類	寿命	1時間当たりの消費電力（Wh）	年間CO ₂ 排出量（kg-CO ₂ ）
蛍光灯(20W)	約2.1年	23.5	27.6
LED(8.5W)	約15年	8.5	10.0
比較	約7倍	約1／3	約1／3
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	自転車通行環境整備事業		
予 算 額	47,000千円	新規・継続 の別	新 規
		政策的新規充実予算枠・ 局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	道路環境整備課(222－3570)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 自転車は環境負荷の低い交通手段として見直され、健康志向の高まりを背景に、その利用ニーズが高まっている。しかしながら、通行ルールの周知やマナーの問題もあり、歩行者と自転車が輻輳し、自転車に関連する事故が増加傾向にある。このため、歩行者と自転車が安心・安全に通行できる環境整備の推進に取り組む。 〔事業概要〕 ○御池通自転車通行環境整備事業 京都市のシンボルロードである御池通において、平成22年度に実施した自転車通行環境整備に係る実証実験の結果検証等を踏まえ、歩道上で歩行者と自転車の通行空間を視覚的に明瞭に分離するための整備を実施する。 <u>平成24年度は、御池大橋から堀川通までの詳細設計を行い、御池大橋から烏丸通までの北側歩道については、整備を実施する。</u>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			



平成24年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	放置自転車撤去の充実																	
予 算 額	73, 117千円	新規・継続の別	継続															
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠															
担 当 課	自転車政策課(222－3565)																	
【事業実施に至る経過・背景など】 ○放置自転車の日・祝日撤去の充実 放置自転車対策については、これまでから駐輪場整備や放置自転車撤去の強化、啓発活動の実施等、精力的に取り組んでいる。とりわけ、放置自転車の撤去については、これまで本市では実施していなかった府や国の管理地の撤去や、土曜日における撤去の毎週実施等に取り組んできた。 これらの取組の結果、市内の放置台数は減少傾向にあるものの、日曜日等の放置台数は多くあり、地元等から撤去要望が出されている。 【事業概要】 日曜日・祝日においても、平日・土曜日と同様、放置自転車撤去を毎週実施することとし、放置自転車対策の更なる推進を図る。 【休日撤去の実施状況】 <table><tr><td>年度</td><td>土曜日</td><td>日曜日・祝日</td></tr><tr><td>21年度</td><td>11回</td><td>2回</td></tr><tr><td>22年度</td><td>毎週実施 (5月～)</td><td>7回</td></tr><tr><td>23年度</td><td>毎週実施</td><td>12回 (予定)</td></tr><tr><td>24年度</td><td>毎週実施</td><td>毎週実</td></tr></table>				年度	土曜日	日曜日・祝日	21年度	11回	2回	22年度	毎週実施 (5月～)	7回	23年度	毎週実施	12回 (予定)	24年度	毎週実施	毎週実
年度	土曜日	日曜日・祝日																
21年度	11回	2回																
22年度	毎週実施 (5月～)	7回																
23年度	毎週実施	12回 (予定)																
24年度	毎週実施	毎週実																
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】																		